

## 第2学年C組 算数科学習指導案

授業者

井谷 紀子

研究協力者

佐藤 学、加藤 慎一

### 1 単元名 1を分けて～分けた大きさの表し方は？～

#### 2 子どもと単元

##### (1) 子どもについて

子どもたちは、これまで「たし算とひき算」や「かけ算」の学習で、ブロックを用いて計算の仕方を説明したり、問題場面を図に表して式と関連付けて考えたりする活動を行ってきた。自分の考えを言葉や絵、図や式で表し、それらを基に説明することができるようになってきている。また、身の回りから数理的に表すことができる場面を見つけて問題をつくったり、生活の中にある長さやかさを探して単位と結び付けたりする活動を通して、獲得した算数の知識と生活とをつなぎ、生かそうとする姿も見られるようになってきた。その一方で、問題解決の過程で答えを導くことに終始し、問い返すと理解が不十分で答えられなかったり、生活と算数の学習とが結び付かず的確な単位で表現できなかったりする子どもも見られる。

分数に関しては、日常的に「半分」や「 $1/2$ 」といった言葉を用いており、折り紙を半分に折ったり、食べ物を人数分に分けたりする経験をしている。しかし、「半分」や「 $1/2$ 」という大きさを実感的に捉えているだけで、厳密に「2等分」としては捉えられていない場合も多い。この単元を通して、子どもたちが折り紙を折ったり食べ物を同じ大きさに分けたりする経験を算数の学習と結び付けて考え、分数の意味を実感できるようにすることで分数のよさに気づき、生活の中で生かす姿を期待する。さらに、数学的表現を用いながら自分の考えを説明し、学びを価値付けていく力を高めていきたい。

##### (2) 単元について

本単元における「学びのものさし」を働かせる姿を、身近な具体物を操作する活動を通して分数をつくることや、もとの大きさに着目して等しく分けた大きさを捉えたり比べたりして、分数の意味やよさを理解しようとする姿であると捉える。

本単元では、整数以外の数として分数を学習する。 $1/2$ 、 $1/3$ などの簡単な分数について知り、折り紙や紙テープなどの具体物を折ったり切ったりする作業的・体験的な活動を通して分数をつくり、分数の大きさを捉えていく。「等分」の意味にも触れながら、全体を1とみて、それを等分した1つ分の大きさを表すという単位分数の意味について実感的な理解を図ることができるように学習を進める。また、全体を等分割して分離量にしたときの個数に着目することで、 $1/3$ の大きさを捉えられるようにする。さらに、乗法及び第3学年の除法の素地的な見方として、「12個の $1/3$ は4個」とみたり、逆に「4個の3倍は12個」とみたりすることで、等分と倍の関係を図や数、式、言葉を用いて表現できるようにする。

分数の意味や表し方については、第3学年から本格的に学習するが、第2学年では、分数についての理解の素地となる学習活動を行い、分数の意味を実感できるようにするとともに、日常生活で生かすようにすることがねらいである。

これらを踏まえ、身近な具体物を操作する活動を通して、分数をつくり、分数の意味を実感できるようにすることで分数のよさに気づき、生活に生かそうとする資質・能力を高めることを目指す。

##### (3) 指導について

研究の重点一つ目との関連から、単元を通して、1単位時間の振り返りに分かったことを「分数図鑑」にまとめる活動を継続して行う。学習で得た知識だけでなく、自分で見つけた「分数で表すことができるもの」の写真をタブレットに撮りため、ICTを活用しながら身の回りに広がる算数に目を向けられるようにしたい。また、単元の終末では、自分の学びを振り返って生活に生かすことができるように、学習した分数の考えや身の回りで見つけた分数を用いて問題づくりをしたり、問題演習に取り組んだりといった自分に合った方法を選択できるようにして学習を進める。さらに、これまでの問題解決の過程で用いた見方・考え方や新たに手に入れた知識や技能を共有できるように、学びの足跡を教室に提示し、積み重ねていくことで、子どもがいつでも学びを振り返ったりこれまでの考えに目を向けたりしながら自ら問題解決に取り組んだりすることができるようにする。

本時では、除法と乗法の意味についての理解の素地となる内容を扱うが、もとの大きさや等分した数に着目し、「もとの大きさの $1/2$ が…個」、「…個の大きさの2倍がもとの大きさ」というように、数量の関係を双方向にみることで、除法と乗法の素地となる見方ができるように図や数、式、言葉を相互に関連付けながら説明する場面を取り上げ、理解を図りたい。

研究の重点二つ目との関連から、子どもが粘り強く問題解決に向かうことができるように、生活の中で見つけた問いを基に学習問題を設定し、単元構成を工夫する。また、友達との対話の中で考えを深めたり、様々な解決方法を選んで考えたりすることができるように、学習形態や学び方を選択できるように配慮する。そして、学習したことを生活の中で活用するよさを実感できるように、自分の生活を見つめ、学びを伝え合う活動を大切にしながら指導を展開していく。

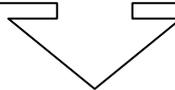
### 3 単元の目標

- (1)  $1/2$ 、 $1/3$ など簡単な分数について理解することができる。 <A-11>
- (2) もとの大きさに着目して、分数の大きさを捉えたり表現したりすることができる。 <A-9、A-15>
- (3) 分数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。 <イ・ウ>

4 単元の構想 (総時数6時間)

三角形と四角形、かけ算九九づくり

- ・三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形について理解し、図形を構成する要素に着目して特徴を捉え、構成の仕方を身に付ける。
- ・乗法の意味や式について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算の仕方を考える力を身に付ける。



本単元

時間	学習活動 (・は予想される子どもの姿)	教師の主な支援	評価 (本校の資質・能力との関連)
1	<p>(1) <math>1/2</math>の大きさや意味を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半分に分けたことがあるよ。</li> <li>・2つに分けたときの大きさが同じだ。</li> <li>・2つに分けてぴったり重なることだ。</li> <li>・分け方や形が違っても、同じ<math>1/2</math>と言えるのかな。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>単元を通して、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*振り返りでは、分かったことを「分数図鑑」にまとめる。</li> <li>*自分で見つけた「分数で表すことができるもの」の写真をタブレットに撮りためる。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「半分」の意味について、「2つに分けている」、「ぴったり同じ大きさに分けている」ことに着目できるように、折り紙を切り分け、2つを重ねる操作を通して考える場を設定する。</li> <li>・もとの大きさが同じなら形が違っていても同じ「量」となることを理解できるように、形が違う2つを取り上げ、形を変形したり、対話を通して考えたりする場を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>1/2</math>の大きさや意味を理解している。 〈イ・A-11〉</li> </ul>
2	<p>(2) 等分の意味や、等分と倍の関係について考え、<math>1/2</math>の大きさについての理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>1/2</math>はもとの大きさを2等分した1つ分の大きさだから、2倍すると、もとの大きさになるね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「<math>1/2</math>にした大きさの2倍の大きさがもとの大きさ」という見方ができるように、「2倍」や「もとの大きさ」との関係をつまみながら、もとのテープと<math>1/2</math>にしたテープの対比を通して考える場を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・等分の意味や、等分と倍の関係を理解している。 〈イ・A-9〉</li> </ul>
3	<p>(3) <math>1/4</math>、<math>1/8</math>の大きさや分数の意味を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1の半分が<math>1/2</math>、さらにその半分が<math>1/4</math>だね。</li> <li>・さらに半分にするとどうなるのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物を操作することによって、<math>1/4</math>、<math>1/8</math>の大きさの理解が深まるように、折り紙やテープを半分に折って、それをさらに半分に折る活動を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物を操作することによって、<math>1/4</math>、<math>1/8</math>の大きさを作り分数の意味を理解している。 〈イ・ウ・A-11〉</li> </ul>
4	<p>(4) もとの大きさが違うと<math>1/2</math>の大きさも違う理由を考え、分数の意味について理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ<math>1/2</math>なのに大きさが違うぞ。</li> <li>・もとの大きさに関係がありそうだ。</li> <li>・もとの大きさが違うと<math>1/4</math>の大きさが違ってくるね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「もとの大きさ」が違っても、等しく分けた一つ分の形が同じでも大きさが違うことを理解することができるように、テープ図など実物を提示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もとの大きさが異なると、その<math>1/2</math>の大きさも異なることを理解している。 〈イ・A-11・A-15〉</li> </ul>
5 本 時	<p>(5) <math>1/2</math>、<math>1/3</math>、<math>1/4</math>の大きさをつくる活動を通して、等分と倍の関係を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2人に分けるなら、2等分で<math>1/2</math>だ。</li> <li>・3人に分けるなら、3等分で<math>1/3</math>だ。</li> <li>・12個を2等分(<math>1/2</math>)すると6個だ。</li> <li>・6個の2倍は12個だね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1枚のチョコレートを等分する場面で、量として捉えるか、数として捉えるかの二つの見方に広げることができるように、自分で問題を作成する場面を設定する。</li> <li>・もとの大きさの<math>1/4</math>の大きさや<math>1/3</math>の大きさからもとの大きさをみると、3等分と3倍、4等分と4倍など等分と倍が逆の関係になっていることを理解することができるように、具体物と関連付けながら図や数、式、言葉を用いて表現するよう促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗法、除法の素地的な見方として、分離量について<math>1/2</math>、<math>1/3</math>、<math>1/4</math>の大きさをつくり、等分と倍の関係を図や数、式、言葉を用いて表現している。 〈イ・ウ・A-11〉</li> </ul>

6	(6) 学んだことを生かして、問題づくりをしたり、復習したりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の学びを振り返り、生活に生かすことができるように、習った分数の考えを用いて問題づくりをしたり、問題演習に取り組んだりといった、自分に合った方法を選択できる場を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分数のよさに気付き、生活や学習に活用しようとしている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">〈イ・ウ〉</p>
---	-----------------------------------	---	--

**◎本単元で育む主な資質・能力**

1/2、1/3など簡単な分数について知り、具体物を操作してそれらの大きさをつくることができるとともに、もとの大きさに着目して分数の大きさを捉えたり表現したりする力を身に付ける。また、分数に進んで関わり、そのよさに気付き生活や学習に活用しようとする。 〈A9、11、15〉



3年 分数

分数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、分数についても整数と同様に加法及び減法ができることを知り、簡単な場合について、それらの計算ができることを知る。

5 本時の実際 (5/6)

(1) ねらい もとの大きさと等分した数に着目し、具体物を操作して $1/2$ や $1/3$ 、 $1/4$ などをつくり、図や数、式、言葉を用いて表現したりする活動を通して、乗法及び除法の見方の素地となる等分と倍の関係に気付くことができる。 <イ・ウ・A-11>

(2) 展開

○「学びのもののさし」を働かせて省察したり、自律的に学習を進めたりするための支援

時間	学習活動	教師の支援 評価
5分	① 問題を確認し、解決方法の見通しをもつ。  問題 チョコレートを、1人分が同じになるように友だちと分けます。どんな分け方があるでしょうか。	○1枚のチョコレートを等分する場面で、量として捉えるか、数として捉えるかの二つの見方に広げることができるように、自分で問題を作成する場面を設定する。
2分	② 本時のめあてを確認する。  めあて チョコレートの分け方を考えよう。	
7分	③ チョコレートの分け方を考える。 <予想される子どもの反応> 【チョコレートを量として捉えている】 ・2人に分けるなら、2等分で $1/2$ だ。 ・3人に分けるなら、3等分で $1/3$ だ。 【チョコレートを数として捉えている】 ・12個を2等分 ( $1/2$ ) すると6個だ。 ・12個を3等分 ( $1/3$ ) すると4個だ。 【うまく分けることができない】 ・5人には分けられないぞ。何でだろう。	○子どもが図をかいたり、形を切ったり、ブロックを操作して考えたりといった、自分に合った方法を選び問題解決に向かうことができるように、どんな解決方法があるか確かめる。 ○友達との対話の中で考えを深めたり、相談しながら等分と倍の関係に気付いたりすることができるように、自分で学習形態を選択してもよいことを確認する。
18分	④ 全体で話し合う。 【等分と倍の関係に気付いている】 ・分けられるときと分けられないときがあるぞ。きまりがあるのかな。 ・12個を2等分すると、1人分は6個ずつになって、6個の2倍は12個だから、 $6 \times 2 = 12$ だ。 ・3等分、4等分のときも同じように表せるぞ。 ・2倍、3倍、4倍するともとの大きさに戻るよ。 ・分数とかけ算の関係がありそうだよ。 【等分と倍の関係に気付いていない】 ・12個の $1/2$ は6個…数字に何か関係はありそうだけど…。 ・たし算の式だと、 $6 + 6 = 12$ だけど…。 ・分数のところをどうすればいいのかな。	・1枚のチョコレートを量として捉えることで答えを分数で表している子どもや、数として捉えて1人分は○個として捉えている子どもの両方の考えを取り上げ、分類することで、捉え方の違いに気付けるようにする。 ・もとの大きさの $1/2$ や $1/3$ の大きさからもとの大きさをみると「…の2倍の大きさ、3倍の大きさ」といった見方ができることに気付けるように、具体物と関連付けながら図や数、式、言葉を用いて表現するよう促す。 ・除法と乗法の関係の素地となる見方につながるように、5等分のような既習の計算では分けられない場合も取り上げる。
8分	⑤ 本時の学習をまとめる。  チョコレートの分け方には、分数で表す場合と何個かで表す場合の二通りがある。 ○等分したものを、○倍するともとの大きさにもどり、かけ算の考えとつながる。	・数量の関係を双方向に見ることで除法と乗法の素地となる見方ができるように、図や数、式、言葉を相互に関連付けながら説明する場を設定し、まとめにつなげる。 ○等分と倍の関係について理解が深まるように、話し合う中でキーワードとなる言葉や、双方向に見ることができるよう板書を工夫して価値付ける。
		乗法、除法の素地的な見方として、分離量について $1/2$ 、 $1/3$ 、 $1/4$ などの大きさをつくり、等分と倍の関係を図や数、式、言葉を用いて表現している。 <イ・ウ・A-11>
5分	⑤ 本時の学習を振り返り、「分数図鑑」にまとめる。	○自己の変容を感じることができるよう、新たな気付きや友達のかえで参考になったことなどをまとめるよう声を掛ける。

# 令和6年度 算数科実践・研究計画

部 員	○伊藤 智美、猿田 千穂子、井谷 紀子
-----	---------------------

研究テーマ  
**個々の問いを基に、主体的・協働的に学びをつなぎ、数学のよさを見いだしていく子どもを育む学び**

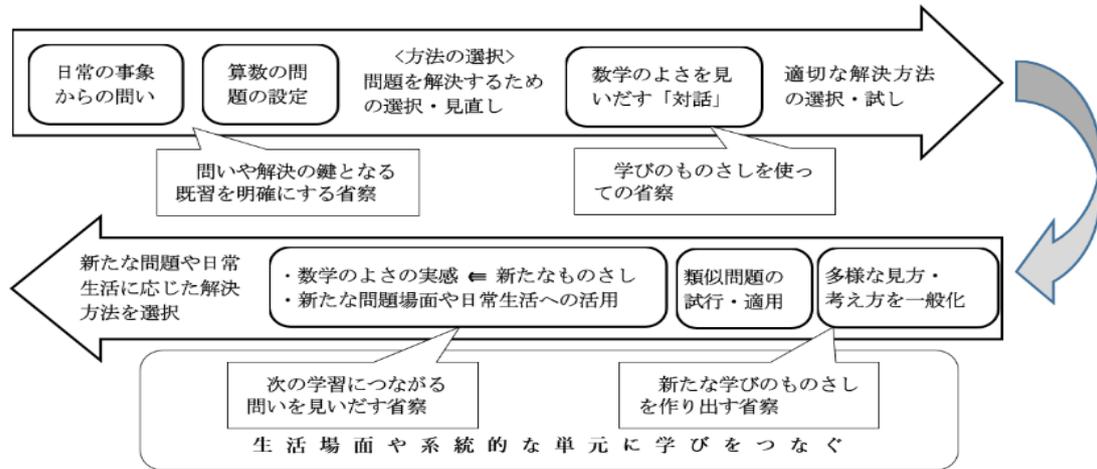
## 1 研究テーマについて

算数科では、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けることや、簡潔・明瞭・的確に表す力、統合的・発展的に考察する力、学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことを目標としている。前年度、子どもたちは、生活の中に存在する算数の事象から新たな疑問を見付けたり、特別活動や他教科の学習から発展して課題を設定したりした。そこから自分に合う課題解決方法を選択したり、試したりすることで、粘り強く学びに向かいながら主体的に「学びのものさし」を更新する姿が見られた。しかし、解決の方法を説明したり自分の学びを価値付けたりする段階で、数学的な表現を使って筋道を立てて説明することに課題が見られた。

よりよく問題解決する姿を引き出すためには、1単位時間の振り返りや自分自身の学びをじっくり見つめる時間の確保、表現する場の工夫が考えられ、単元構成や1単位時間の授業を教師がどのようにコーディネートしていくかが大切になる。これらを基に、主体的・協働的に数学のよさを見いだしていく姿を目指し、実践・研究に取り組んでいく。

算数科で目指す自律した子どもの姿

- ・「仲間との対話」をもとに試行錯誤し解決する過程で、考えを修正したり再構築したりしながら、自ら進んで数学的な概念を獲得し、自分の学びを自分の言葉で表現していく姿
- ・獲得した新しい知識や方法等を次の学習や生活の中で活用し理解を深める姿



図：算数科 自律した学習者を育てる学習のプロセス

## 2 研究の重点 <○は具体的な取組の例>

### 獲得した数学的概念や自分の学びを自分の言葉で表現する姿を引き出す授業デザイン

- 自分の学びを相手に分かりやすく伝えながら価値付けていくための活動の場を設定する。
  - ・学習内容を生かした問題作りを行い、自分が問題を作った意図や解決方法などを伝える場を設定する。
- 自分の学びを表現する姿を引き出すための単元や授業の構成を工夫する。
  - ・自分自身の学びをじっくり見つめ、学びのつながりを自覚しながら、数学的な表現を用いて問題解決することができるように、複数の単元のつながりを重視した授業を構成する。



16	真分数, 仮分数, 帯分数について理解する。	A(3)①			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
17	整数の除法の結果を分数で表す。	A(3)①					<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
18	分数を小数で表す。	A(3)①					<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
19	加法について計算の意味と計算の仕方を考える。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
20	加法の意味を理解する。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
21	加法の計算をする。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
22	減法について計算の意味と計算の仕方を考える。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
23	減法の意味を理解する。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
24	減法の計算をする。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
25	乗法について計算の意味と計算の仕方を考える。	A(3)②		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
26	乗法の意味を理解する。	A(3)②		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
27	乗法の計算をする。	A(3)②		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
28	除法について計算の意味と計算の仕方を考える。	A(3)②			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
29	除法の意味を理解する。	A(3)②			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
30	除法の計算をする。	A(3)②			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
31	四則の混合した式を計算する。	A(3)②				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
32	既習の知識を利用して, いろいろな方法で計算結果の確かめをする。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
33	様々な事象の中から法則性を見だし, 交換法則・結合法則・分配法則などを場合に応じて活用する。	A(3)②			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
34	数量の関係に着目し, 加法及び減法が用いられる場面を式に表したり式を読み取ったりする。	A(3)③	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
35	数量の関係に着目し, 乗法が用いられる場面を式に表したり式を読み取ったりする。	A(3)③		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
36	数量の関係に着目し, 除法が用いられる場面を式に表したり式を読み取ったりする。	A(3)③			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
37	数量の関係に着目し, 数量の関係を文字を用いて表現したり, 式の意味を読み取ったりする。	A(3)③			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

	38	数を日常生活の場面に応じて活用する。	A(3)④	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				
	39	四則計算を日常生活の場面に応じて活用する。	A(3)④	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				
	40	概数や四則計算の見積もりを日常生活の場面に応じて活用する。	A(3)④				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	41	既習を適用する。	A(3)①~④	<input checked="" type="checkbox"/>					
算数科の各領域 の付けたい力 B 図形	1	形の特徴をとらえて、ものを弁別する。	B(3)①	<input checked="" type="checkbox"/>					
	2	図形の構成要素をもとに、図形の性質について考察し分類する。	B(3)①		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	3	図形の構成要素の関係をもと、図形の性質について考察し分類する。	B(3)①				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	4	角の数量的な関係をとらえる。	B(3)①				<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	5	道具を用いて、図形を構成したり、作図したりする。	B(3)②	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				
	6	図形間の関係をもとに、図形の構成の仕方をとらえる。	B(3)②				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	7	立体図形を見取り図や展開図で表したり、見取り図や展開図をもとに、立体図形を構成したりする。	B(3)②				<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	8	図形のもつ美しさに気付く。	B(3)②④	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	9	図形の構成要素の大きさを数値化する。	B(3)③				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	10	面積や体積の求め方を考え、計算によって求める。	B(3)③				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	11	図形の性質を生かしてデザインする。	B(3)④		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	12	図形のもつ機能的な側面を日常生活の場面に応じて活用する。	B(3)④	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				
	13	図形の性質を活用し、測量を行う。	B(3)④			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	14	平面や空間における位置を特定し、表現する。	B(3)④	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				
	15	既習を適用する。	B(3)①~④	<input checked="" type="checkbox"/>					
算数科の各領域 の付けたい力 C 変化と関係	1	伴って変わる二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて表現する。	C(3)①				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	2	伴って変わる二つの数量の変化や対応の特徴を見いだす。	C(3)①				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	3	二つの数量の関係と別の二つの数量との関係を割合を用いて比べる。	C(3)②				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

	4	割合や比を用いて数量の関係を比べたり, 知りたい数量の大きさを求めたりする。	C(3)②					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	5	伴って変わる2つの数量の変化や対応の特徴を考察し, 見いだした規則性などを日常生活の場面に応じて活用する。	C(3)③					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	6	既習を適用する。	C(3)①~③	<input checked="" type="checkbox"/>						
算数科の各領域の付けたい力	1	統計的に解決可能な問題を設定する。	D(3)①					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
D データの活用	2	目的に応じてデータの集め方を考え, データを集める。	D(3)①					<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	3	データを分類整理し, 特徴をとらえる。	D(3)①	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	4	目的やデータの種類に応じて表やグラフに表す。	D(3)①		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				
	5	表やグラフから見いだした特徴や傾向から問題に対する結論をまとめて表現したり, さらなる課題や改善点を見いだしたりする。	D(3)①						<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	6	代表値の求め方や意味を理解し, 適切に用いる。	D(3)①						<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	7	事象の起こりやすさについて考察する。	D(3)①		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				
	8	起こり得る場合について落ちや重なりがないように調べる。	D(3)①							<input checked="" type="checkbox"/>
	9	結論について多面的・批判的に考察する。	D(3)②					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	10	既習を適用する。	D(3)①②	<input checked="" type="checkbox"/>						

〈算数科の学びを支える「見方・考え方」〉

- a 事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目してとらえ, 基礎的・基本的な概念や性質などを理解しそれらを用いて説明する。
- b 事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目してとらえ, 具体的な操作活動をもとに説明する。
- c 事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目してとらえ, 数学的な表現を用いて説明する。
- d 事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目してとらえ, 筋道を立てて論理的に説明する。

〈領域の学びを深める「見方・考え方」〉

- 数 と 計 算 e 数の表し方の仕組み, 数量の関係や問題場面の数量の関係などに着目してとらえ, 根拠をもとに筋道を立てて考えたり, 統合的・発展的に考えたりすること。
- 図 形 f 図形を構成する要素, それらの位置関係や図形間の関係などに着目してとらえ, 根拠をもとに筋道を立てて考えたり, 統合的・発展的に考えたりすること。
- 測 定 g 身の回りにあるものの特徴などに着目してとらえ, 根拠をもとに筋道を立てて考えたり, 統合的・発展的に考えたりすること。
- データの活用 h 日常生活の問題解決のために, データの特徴や傾向などに着目してとらえ, 根拠をもとに筋道を立てて考えたり, 統合的・発展的に考えたりすること。